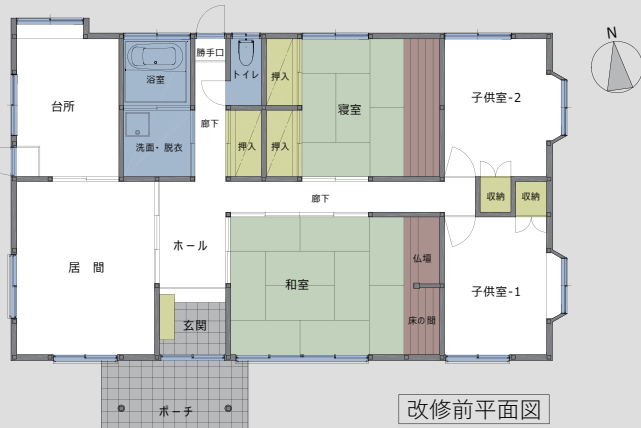


リフォーム前



本物件のリフォームの依頼主は建物所有者の娘夫婦で、築年数は45年、空き家となつて2年が経っていた。提案したリフォームの内容は家族のライフスタイルに合わせた間取りの変更と仕上げ材の老朽化に伴った下地からの全面やり替え計画である。

柱・梁などの構造材は状態もよく修繕の必要が無かったが、長年に渡って基礎の沈みや柱の傾きなどの変形を調整する必要があった。また、リフォーム前の間取りは、中廊下で南側と北側の部屋が分かれており、光の入らない中廊下は暗い印象があったので、自然光でも十分に明るい空間を計画する検討が必要であった。なお屋根や外壁、一部のアルミサッシは現状のままとしたコストダウンを図る計画とした。



■居間(リフォーム前)



■台所(リフォーム前)



■外観(リフォーム前)



■解体撤去状況

リフォーム後



① 天然木を使った室内空間

本計画は「回遊動線」をキーワードとして、使い勝手の良い間取りで、快適なくらしができるように施主の要望に対し、以下の提案を行った。

- 陽当たりの良い南側に家族の憩いの場となるLDKを配置する。
- 対面キッチンは両側から使える回遊動線とする。
- 室内干しができるドライルームを脱衣室と隣接させる動線計画とする。
- 家族が使うファミリークローゼットは洗う・干す・たたむ・収納するという流れが可能になるようにドライルームに隣接させ回遊動線を確保する。
- 四季を通して快適に過ごせるように、床・壁・天井の断熱性能を高める。
- 間仕切り壁の変更を行いながらも、耐震性能を向上させる。
- 仕上げ材に天然木を使い、温かみのある室内空間とする。

図中の○印の柱は構造上、撤去できずに残ったが、柱に囲まれたエリアをスタディーコーナーとすることで空間利用の工夫を図った。

また図中の↔は家族が自由に動ける回遊動線を示している。



② おもてなしの玄関



③ 回遊動線のあるキッチン



④ スタディーコーナーのあるリビング・ダイニング



⑤ 3人並べる洗面化粧台



⑥ 室内干し可能なドライルーム



⑦ 存在感のある黒い外観

応募者・施工者	設計者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有限会社幸福住建	幸福住建一級建築士事務所 福永 知哉	45年	木造	平屋	2023年4月	150日間	1960万	指宿市	内装・外装リフォーム